

輪島市・穴水町地域エネルギー一回収型廃棄物処理施設
整備運営事業

優先交渉権者選定基準

令和元年10月4日

輪島市穴水町環境衛生施設組合

輪島市・穴水町地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備運営事業
優先交渉権者選定基準

目 次

1. 総則	1
2. 事業者の選定方法	1
3. 審査の枠組み	1
(1) 資格審査	3
(2) 提案審査	3
4. 非価格要素審査及び価格審査における得点化方法	4
(1) 非価格要素審査における得点化方法	4
(2) 価格審査の得点化方法	6

1. 総則

この「輪島市・穴水町地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備運営事業優先交渉権者選定基準」（以下「優先交渉権者選定基準」という。）は、輪島市穴水町環境衛生施設組合（以下「組合」という。）が、輪島市・穴水町地域エネルギー回収型廃棄物処理施設整備運営事業（以下「本件事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を募集・選定するにあたって、公募型プロポーザルに応募しようとする者を対象に配布する募集要項と一体となるものである。

優先交渉権者選定基準は、事業者を選定するにあたって、プロポーザル参加者のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価・選定するための方法や審査項目を示し、プロポーザル参加者が行う提案について、具体的な指針を与えるものである。

2. 事業者の選定方法

事業者の選定は、本事業の特性を踏まえ、価格のほかに、施設の性能、機能、技術等の提案及び環境、安全、循環型社会への配慮等を総合的に評価する必要があることから、公募型プロポーザルにより実施する。

本事業は、施設の設計・建設及び運営（運転・維持管理等）の各業務を実施するため、専門的な技術やノウハウにより、搬入される処理対象物を環境負荷の低減を考慮した方法で、安定的かつ効率的に処理するとともに、燃焼による熱エネルギーを利用した余熱利用等を行うものである。そのため、事業を実施する事業者の選定については、設計・建設、運営事業に関する技術、事業遂行能力及び提案価格を総合的に評価する。

3. 審査の枠組み

審査は、第1段階の「資格審査」、第2段階の「提案審査」で構成される。

資格審査では、応募者の応募資格要件の確認を行い、応募資格要件の充足を確認できた応募者だけが第2段階の提案審査を受けることができる。なお、提案書提出の事前に、要求水準書等に対する認識の相違を解消し、民間の相違工夫を引き出しつつ要求水準未達となる事態を回避するために、対面的対話を実施する。

第2段階の提案審査は、「基礎審査」、「非価格要素審査」及び「価格審査」で構成され、提案内容を評価し、優先交渉権者を決定する。

プロポーザルの公告後から契約締結に至るまでの流れは、図1に示すとおりである。

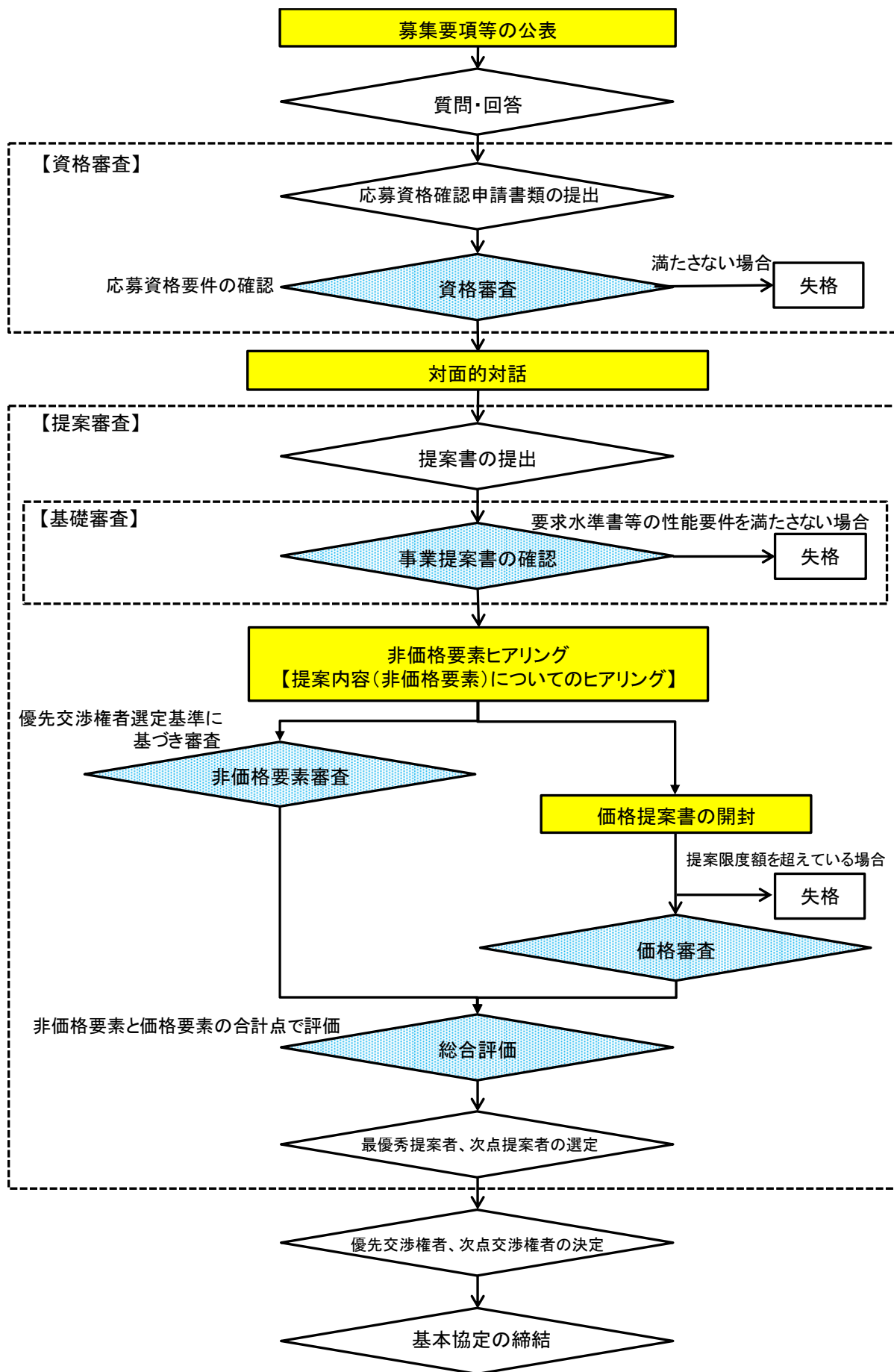


図1 契約締結までの流れ

(1) 資格審査

輪島市穴水町環境衛生施設組合事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）の事務局は、応募資格確認申請書類により、募集要項「第3章 応募者に関する条件等」に記載の応募者の備えるべき応募資格要件（以下「応募資格要件という。」）を満たしていることを確認する。なお、応募資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

① 基礎審査

選定委員会の事務局は、資格審査に合格した応募者から提出された事業提案書について、要求水準書等に示された性能要件を満足するものであること、事業としての妥当性を有しているかの審査を行う。基礎審査における視点を次に示す。なお、要求水準書等に示す基準を満たしていない場合は、失格とする。

ア. 提出書類の審査

(ア) 必要である提出書類が揃っているか

(イ) 提出書類において、書類間での整合が図れているか

イ. 事業提案書と要求水準書の適合性

(ア) 要求水準を満たした技術提案がされているか

(イ) 募集要項及び様式集に示す事業提案書の作成に関する条件について違反がないか

(ウ) 同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないか

② 非価格要素審査

選定委員会は、事業提案書の提案内容を、次に示す観点から評価し得点化する。

ア. 全体施設計画

イ. 公害防止基準

ウ. 施設の安全性

エ. 施設の安定性

オ. 住民等への対応

カ. 省エネルギー化対策

キ. ライフサイクルコストの適正化

ク. S P Cの収支計画の安定性

ケ. 地元への貢献性

コ. その他

なお、審査にあたりヒアリングを実施する。ヒアリングについては、応募者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施することを予定している。

ヒアリング開催要領の詳細は、別途通知する。

③ 価格審査

提案価格が、設計・建設業務、運營業務のいずれかの業務に係る提案限度額を超える場合、組合は応募者を失格とする。選定委員会は、失格とならなかった提案価格を得点化する。得点化は、建設費と運営費の合計金額で行う。

④ 総合得点の算出方法

組合は、選定委員会による審査結果を踏まえ、次のとおり優先交渉権者を選定する。②の「非価格要素審査点」と③の「価格審査点」を合計して総合審査点を算出する。

$$\boxed{\text{総合得点} = \text{非価格要素審査点} + \text{価格審査点}}$$

なお、非価格要素審査点の満点を60点、価格審査点の満点を40点とし、合計100点満点とする。

⑤ 最優秀提案者等の選定

総合得点が最も高い提案を行った応募者を最優秀提案者とし、次いで総合得点が高い提案を行った応募者を次点提案者として選定する。なお、総合得点の最も高い提案が複数ある場合、当該者のくじ引きにより最優秀提案を選定する。

⑥ 優先交渉権者等の決定

組合は、選定委員会の審査結果を踏まえ、優先交渉権者及び次点交渉権者を決定する。

組合は、優先交渉権者と契約内容の協議を行い、協議が整った場合には優先交渉権者と事業契約を締結する。優先交渉権者との協議が整わない場合、組合は、次点交渉権者と協議を行う。

4. 非価格要素審査及び価格審査における得点化方法

(1) 非価格要素審査における得点化方法

非価格要素審査点の配点は、60点とする。次に示す各審査項目の得点の合算を非価格要素審査点とする。審査項目及び配点、採点基準を次に示す。

① 審査項目と配点

審査項目及び配点は、表1のとおりとする。

なお、表1に示す「審査の視点」の詳細は、様式集（Word版）の様式第15号及び様式第16号に示すとおりである。

表1 非価格要素審査項目

審査項目	審査の視点	配点
1. 設計・建設及び運營業務に関する事項		
(1) 安全で安心した処理		
①配置動線計画	ア. 屋外配置動線計画	5
	イ. 屋内配置動線計画	3
②施設の安定稼働	ア. 処理システムの信頼性	4
	イ. トラブルの未然防止及び事後対策	2
	ウ. 基本性能の維持	3
③施設の安全性	ア. 災害時の安全確保	3
	イ. 施工計画	4
	ウ. 作業環境	2
④運転管理	ア. 体制	2
	イ. 搬入・搬出管理	2
	ウ. 運転・維持管理	3
(2) 万全の公害防止対策と自然環境との調和		
①環境保全	ア. 公害防止基準	2
	イ. 公害防止基準を満足するための取組	2
②余熱利用計画	ア. 効果的な余熱利用に係る提案	2
(3) 周辺環境との調和		
①景観	ア. デザインと景観形成	2
②環境学習計画	イ. 見学者対応及び環境学習計画	3
2. 事業計画に関する事項		
(1) 経営計画・事業収支計画		
①事業収支計画	ア. 事業経営計画及び事業収支計画策定における基本方針と考え方	4
	イ. 事業運営の透明性	
	ウ. 事業の継続性に係る担保	
(2) リスク管理方法		
①リスクの管理と対処方法	ア. リスクの管理方針とその管理体制	4
	イ. リスクへの対処方法に関する考え方	
	ウ. セルフモニタリングの実施内容と頻度	
	エ. 保険活用の考え方と内容	
(3) 地元への貢献		
①地域経済への配慮	ア. 地元企業の活用	2
	イ. 地元雇用	2
②地域社会への配慮	ア. 社会的貢献に対するコンセプトと貢献策	2
	イ. 信頼関係の確立に対するコンセプトと確立方法	2
計		60

② 審査項目の採点基準

各審査項目において、以下に示す5段階により評価、得点化する。
 なお、得点は、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求める。

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	項目ごとの配点×1.00
B	AとCの間	項目ごとの配点×0.75
C	優れている	項目ごとの配点×0.50
D	CとEの間	項目ごとの配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	項目ごとの配点×0.00

③ 得点算出式

非価格要素審査点については、各委員が個別に行った評価の平均値とする。
 なお、得点は、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求める。

【非価格要素審査点の算出式】

$$\text{非価格要素審査点} = \frac{\Sigma (\text{各審査項目の配点} \times \text{評価})}{\text{委員人数}}$$

(2) 価格審査の得点化方法

非価格審査終了後、提案価格が提案限度額を超えていないことを確認した上で、価格審査を実施する。価格審査は、提案限度額を超えていない提案のみを得点化する。

価格審査点の配点は40点とし、以下の方法で得点を算出する。

なお、得点は、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求める。

【価格審査点の算出式】

$$\text{価格審査点} = 40 \text{点} \times \left(\frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}} \right)^2$$